

リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲府市立南西中学校（山梨県）

【取組内容④】「オンラインを利用した指導案検討」

予定の調整もオンラインで実施できる。

学校内役職	氏名	6/5	6/6	6/7	6/8	6/9	6/12	6/13	6/14	6/15	6/16	6/19	6/20	6/21	6/22
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日
教員		未	可	可	不	不	未	可	未	不	不	可	可	不	
授業者		不	可	可	可	可	可	可	可	不	不	可	可	可	
文長		未	未	可	不	未	未	未	未	未	未	未	未	未	
研究主任		可	可	可	可	可	可	可	不	不	不	可	不	可	
情報担当		可	不	可	可	可	可	可	可	可	可	可	可	不	
その他、何人でも参加しても大丈夫です。		未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	
学校教育課		未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	未	
		3	3	5	4	4	4	4	3	2	1	3	2	4	3

先生にMeetでご参加いただく日

参加して実施するよりも多くの意見が出てくる充実した検討となる。

展開 25分

(例) パンフレット、取り扱い説明書、大会の要項

【つむぎ】《活動①：5分》（個人）
○教科書62ページにあるパンフレットを読み比べる。（考えるヒント）...Jamboardにヒントを載せておく【タイトル】「文字の大きさ」「デザイン」「書体」「漢字」「語尾」「レイアウト」「色使い」「書いてある内容」

《活動②：10分》（前半5分）
○教科書63ページにあるドライバーの説明書について、線が引かれている部分を自分で書き直す。（黄色のふせんを使用・必要に応じてマーカーなどを引く）

（後半5分）
○自分で選んだ方法※でさらに文章を練って書き直す。（青色のふせんを使用）
※：引き続き個人で考える
※：周りの人と話しながら考える（教員でもOK）
※：Googleドライブから他の人の意見を見て考える

《活動③：10分》
○グループで話し合い、自転車の説明文のなかで、インターネットで自転車を購入するとき注意した方がいい情報に線を引く。

○他のグループが線を引いた画像を見て、なぜその部分に注意する必要があるかを考え、ふせんに書き、「ペン」の機能を使ってふせんと文章をつくる。 1班⇨4班 2班⇨5班 3班⇨6班

【つなぐ】（10分）（前半5分）
○今日の学習を振り返って、パンフレットや説明書などの文章を読む時や書く時に注意することをJamboardの左側にまとめる。
※付箋ではなく、テキストボックスを使用する。

デザインシート（紙）

- Jamboard① ※1人1Jam
- Jamboard② ※1人1Jam
- ドライブ
- Jamboard③ ※全体で1つ
- Jamboard ※1人1Jam

これまでの指導案検討

- ・職員がみんなで集まり、時間をかけて行うが、意見は限られた人の発言に終始する。
- ・忙しい先生達の時間を更に使ってしまう。



これからの指導案検討

- ・オンラインで指導案を共有して、事前にコメントを記入して、授業者も回答する。
- ・大学の有識者や指導助言者ともオンラインで予定を調整して、オンラインで指導案検討を短時間で行う。
- ・時間を有効に利用できる。授業者には好評。